

なんだ・かんだ

◆ リーダーになる人を知ってほしいこと 松下幸之助 ◆

今や原口総務省・前原国交省大臣を始め国会議員34名を輩出している故松下幸之助氏が創設した私塾「松下政経塾」。昨年末に「リーダーになる人を知って欲しいこと」という松下幸之助氏の塾生に向けた話を集めた本を読みました。私共が仕事をしていく上でも大変参考になることが多くあります。特に「素直な心」という言葉が随所に出てきますが、幸之助氏曰く「素直な心とは、寛容にして私心なき心、広く人の教えを受ける心、分を楽しむ心であります。また、静にして動、動にして静の動きのある心、真理に通ずる心であります」と言うことだそうです。松下幸之助氏の思想の根底にあるものだと思います。当社でも朝礼などでこの「素直な心」について社員に話をしています。今の政治家が皆「素直な心」であってくれば良いのですが。

以下、紙面の許す限り抜粋を掲載いたします。

■松下政経塾 塾訓

素直な心で衆知を集め、自主自得で事の本質を究め、日に新たな生成発展の道を求めよう

■「今日一日素直な心で無事にいかせて下さい。」と心に念ずることを30年続けたら、まあ大きな間違いなく素直な心でものは見える。

■考えても答えのないものはある。しかし、志ある人は、歩いて尋ねて教えを請い、いずれ答えを出す。自分から進んで学ぶ。教えてくれるなどと思てはいけない。

■誰の言うことでも素直に聞く。良いと思ったら素直に取り入れ実行する。人の意見を聞く時は私心無く、素直な心で聞き、他人の知恵才覚を授かる。そう難しくなく、人はなかなかできない。

■一事に成功すれば万事に成功する。一事に成功できない者が、あせって万事に手を出しても成功しない。成功のコツをつかむまで努力をやめない。そして使命感と気力、この二つ無しで真の成功はない。

■他人に頼ってもらうより、自分で自分を観る。自分のどこがいけないかを自分で見つける。この自己観照が大切である。

■松下政経塾 五誓

1. 素志貫徹の事：常に志を抱きつつ懸命に為すべきを為すならば、いかなる困難に会うとも道は必ず開けてくる。成功の要諦は成功するまで続けたところにある。

1. 自主自立の事：他を頼り人をあてにしては事は進まない。自らの力で、自らの足で歩いてこそ他の共鳴も得られ、知恵も力も集まって良き成果がもたらされる。

1. 万事研修の事：見るもの聞くことすべてに学び、一切の体験を研修と受けとめて勤しむところに真の向上がある。心して見れば、万事ことごとく我が師となる。

1. 先駆開拓の事：既成にとらわれず、絶えず創造し開拓していく姿に、日本と世界の未来がある。時代に先駆けて進むものこそ、新たな歴史の扉を開くものである。

1. 感謝協力の事：いかなる人材が集うとも、和がなければ、成果は得られない。常に感謝の心を抱いて互いに協力し合ってこそ、信頼が培われ、真の発展も生まれてくる。



今年もよろしくお願い致します

新しい年も明け、早くも4週間が過ぎ、「新年」という言葉が合わなくなっておりませんが、あらためまして、本通信を読んでいただいている皆様、本年が皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念いたします。また、弊社に対しまして本年も倍旧のお引き立ての程宜しくお願い申し上げます。

さて、今年の干支は「虎」です。「虎千里を駆ける」「虎穴にいらずんば虎兇を得ず」といった諺があります。正月早々、新聞やテレビでの政治・経済の報道も、実際お客様のおへこ挨拶にお伺いしてもなかなか良い話はありませんでしたが、ここで意気消沈することなく、虎のように「勢い良く」そして、難しい問題や課題に対して「果敢に挑戦」していく年にならうと思っております。

毎朝出勤の際に見る銀行の寒暖計が「0℃」を表示している日も何日かあり、寒い日が続いたかと思うと、大寒の日を含む数日は3月中旬の季候と、寒暖の差に体が付いていくのが大変です。皆様におかれましては、風邪などひかれないうような冬を乗り切ってください。

代表取締役 服部 敏一郎

うれしい話

◆ マンション外壁改修工事の受注 ◆

先日あるマンションの外壁改修工事を受注いたしました。3社によるコンペだったのですが、住民の方へのプレゼンテーションを行い、その後投票で弊社に決定しました。

内容は弊社が得意とする塗装と防水関係がメインの工事だったのですが、プレゼンテーションの前に担当者は、現場に何度となく足を運び、メーカーや業者と打ち合わせし、仕様を煮詰め一生懸命資料を作っていました。

競合する相手は弊社より何倍も大きな会社で、プレゼンテーションの内容も分かりやすく、説得力のあるもののように思いました。また、仕様は多少違うところもあったようですが、価格的にも一番安いわけではなかったようです。

それでも当社を選んで頂いたわけですが、後日マンションの理事の方と私が直接お話しする機会があり、選定の理由についてお伺いすると、

- ① 担当者の意気込みと思いが他社と違った。
- ② プレゼンの最後に言った「地元の企業です。適当な工事は出来ません」という言葉

が主な理由ではないかとのことでした。大変うれしいお言葉を頂き感激しました。後は選んでいただいた皆様が後悔するようなことがないよう一生懸命工事を行っていかうと思っております。

新年早々「うれしい話」です。



■ 日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(木耐協)加盟 ■

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合(略称:木耐協)は、木造住宅の耐震性向上に特化し、その活動は、耐震診断や補強プラン提案等の普及啓蒙活動のみならず、補強技術の研究・開発と普及についても寄与しています。

平成10年に民間の任意団体として発足し、平成11年より国土交通省を主務官庁とし活動する協同組合です。平成21年1月現在では全国で、1,143社が参加しています。

東海地震が騒がれて久しい現在ですが、木造住宅の耐震補強をお考えの方がございましたら、ご相談下さい。



本レターのご提出に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思っております。次回からの発送を中止させていただきます。

株式会社 チキリ
静岡県駿東郡清水町卸団地 73
Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534
E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/